

入 試 年度	2026 年度	入 試 時 期	Ⅱ 期 入 学 試 験	実 施 日	2026 年 2 月 24 日
課 程	博士前期課程	研 究 科	文学研究科	専 攻 ・ コ ー ス	臨床人間学専攻現 代社会学専修
入 試 方式	一般入学試験		試 験 科 目	専門科目	
「解答」または「解答例」及び「出題の意図」					
【解答】 or 【解答例（採点時の観点）】					
I （1）【解答例】					
セクシュアリティとは、性、ジェンダー・アイデンティティ、性的指向、エロティシズム、快楽、親密さ、リプロダクションを含む、人間の存在の中心的側面である。セクシュアリティは生物的に備わった部分はあるものの、社会や時代によって大きく異なっており、それぞれの社会の影響を受けて構築されている。その社会的構築は男女で異なっていなされ、つまりジェンダー化されている。その例としては、性的快楽への考えや姿勢が挙げられる。男性の性的快楽と女性の性的快楽は生物的に器官が異なっている面はあるが、社会的に男女で異なった構築がされている。現代日本では、男性の性的快楽は社会的に肯定され推奨され、それを満たすための多様なサービスが産業化されている。女性の性的快楽は社会的に貶められ無視され、自分がどうしたら性的快楽を得られるのかを知らない女性も少なくない。 （採点時の観点として、「セクシュアリティ」「社会的構築」「ジェンダー化」の3つの意味を理解しているか否かを調べている。）					
（2）【解答例】					
①ソリッド・モダニティとは、第一段階の近代を指し、その性質は、国家、官僚制、工場、家族制度などの硬い構造が存在し、個人が秩序に埋め込まれており、個人の人生は予測可能性が大きかった。 ②リキッド・モダニティとは、第二段階の近代を指し、その性質は、制度、関係が液体のように流動化し、個人の人生は予測可能性が低く、不確実性が高くなっている。 ③ソリッド・モダニティからリキッド・モダニティへの移行の要因は複合的で、東西冷戦の終焉以降のグローバル化、産業構造の変化、消費社会化、デジタル化（コンピュータやインターネットの発達）などが挙げられる。					
（3）【解答例】					
①コーディング インタビューの逐語録など調査で得られた質的データを整理し、意味のまとまりに分類する分析法 ②エスノグラフィー 研究者がフィールドに長期間入って参与観察し、そのフィー					

ルドの文化や日常実践を記述する調査法

③ライフヒストリー 個人の人生の軌跡を詳しく聞き取り、そこから社会構造、制度、文化の影響を読み取る調査法

(4)【解答例】研究倫理としては、次のような事柄が挙げられる。

○調査協力の非強制性 調査協力は完全に本人の自発性に基づいていること、調査に協力しなくても何の不利益も被らないこと、調査協力をいったん引き受けてから断る・調査を始めてから途中で止めるなども自由にできること

○調査目的と調査結果の公開に関する情報の明示 調査協力者はそれへの理解と同意にもとづいて協力する

○調査内容が秘匿的な場合の協力者の匿名性の確保 協力者の匿名性を確保するために、調査データの固有名詞を仮名にする、本人が特定できないように細部を加工するなどの配慮をする。

○調査協力による心理的安全の確保 調査協力が協力者の心理的負担になることもありえる。答えたくない質問には答えなくてもよい、いったん答えた後で撤回してもよい、もしも調査協力の心理的負担により心理的不調をきたした場合は相談所を紹介するなどの配慮をする。

○調査データの管理の徹底 個人情報漏洩を防ぐために、調査データはインターネット上のクラウドに上げない、ファイルにパスワードをつける、データ管理の責任者を設けるなど管理を徹底する。

(採点時の観点として、現代社会学専修の学生たちは多くが調査をおこなうが、調査協力者を傷つけてしまうようなことがないように、他者への倫理的配慮のできる人を選別している。)

(5)【解答例】

社会学は、人間の現象のうち、どの時代どの社会でも同様に成り立つ側面ではなく、時代により変化し社会によって異なる側面を研究対象とし、その特徴やしくみを、巨視的視点と微視的視点、その連関から読み解く学問領域である。社会学は経済現象や政治現象も対象にすることがあるが、経済学や政治学が、経済現象や政治現象でないものを対象にすることはない。その点で、社会学はより広い人間現象を研究できる。社会学と人類学はかなり重なる部分をもつが、人類学は未開社会の研究、社会学は近現代社会の研究から出発したという学問の歴史の違いがある。心理学と社会学は同じ研究テーマを扱うことがあるが、心理学はある個人に特有の家庭環境や人間関係、個人的体験の解釈に焦点を当てるのに対し、社会学は個人の生きる環境、関係や体験に影響を与える社会の解釈に焦点を当てる。

〔Ⅱ〕 次の用語から 5 つを選び、番号を明記してから詳細な説明を書いて下さい。

(1) 異性愛規範・ジェンダー規範を批判的に問い直し、性・ジェンダーの多様性を理論化する研究領域。

(2) 個人や家族が、社会階層の中で位置を変えること。上昇移動と下降移動に分けられ、世代間移動（親子間の階層変化）と世代内移動（同一人物の生涯内の変化）の二種が考えられている。

(3) 逸脱は行為そのものではなく、社会が「逸脱」とラベルを貼ることで生じるとする理論。逸脱は社会的に構築されると見る理論と言ってもよい。たとえばある人が「不良少年」とラベルを貼られると、その人の意識に変化が起き、さらに二次的な逸脱を起こしてしまうなどの仕組みを明らかにしている。

(4) 人々のつながり・信頼・互酬性から生まれる資源。つながりが、文化的、経済的利益を生むという視点が活かされている。

(5) 環境負荷や環境リスクが特定の社会集団に不平等に集中しないようにするという理念。貧困層の居住地に汚染物質が廃棄されるなどの現実を批判するために、作られた概念。

(6) 仕事の一部として感情を管理し、適切な感情表現を演じること。客室乗務員、介護職、接客業などが典型。

(7) 近代化の過程で登場し、普及していった家族の形で、子ども中心、非親族を排除、夫婦と子どもの核家族、夫婦の性別役割分担、成員間の情緒的関係などの特徴をもつ。

(8) 「人民」対「エリート」という対立構図を強調し、既存の政治・制度を批判する政治的スタイル。

Ⅲ 【解答例】

男子では、「つきあっている人以外の人とのセックス」の容認が 12～16%、「知り合ってすぐの相手とのセックス」の容認が 38～45%と大きな変化がなく、一方で「お金や物をもらったりあげたりしてセックスをすること」は 20%～33%、「愛情がなくてもセックスをすること」は 38%～53%に容認が増加した。最も大きな変化は、「同性と性的行為をすること」の 24%～59%の増加である。

女子でも、具体的な数字は異なるが、傾向はほぼ同様で、「つきあっている人以外の人と

のセックス」の容認が6%～13%、「知り合ってすぐの相手とのセックス」の容認は18～20%と大きな変化はなく、一方で「お金や物をもらったりあげたりしてセックスをすること」の容認は15%～19%と緩やかに上昇し、「愛情がなくてもセックスをすること」の容認は18%～28%と男性よりは少ない幅だが上昇した。最も大きな変化は、「同性と性的行為をすること」で、37%～78%と、男性より大きな幅で上昇した。

男女とも、恋人以外との性関係を否定するモノガミー規範や、十分な信頼関係が築かれる前のセックスに対する慎重な意識は根強く維持されているが、愛情と切り離された性行為や金銭を媒介にした性行為を許容する意識、性の多様性への容認の意識は、男女でペースは異なるものの広がってきていると言える。

【出題の意図】

I (1) はセクシュアリティの社会学の、(2) は近代化・現代化の、(3) は質的調査のデータ分析の、(4) は研究倫理の、(5) は社会学という学問領域の、きわめて基礎的な事柄について問うている。出願者が社会学の基礎の理解度を見る意図である。近年は、セクシュアリティの社会学を学ぼうとする出願者が多いため、(1) を選択肢として設けている。

II いずれも、社会学の基礎的な専門用語であり、授業でもしばしば使われる。社会学の理論や知識の理解度を見る意図である。

III 初歩的なグラフの解読能力と、規範意識という社会学の基礎的な見方の理解度を見ることが出題意図である。

合否判定の方法及び基準

入学試験は文学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。

合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。